



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月8日

上場会社名 リゾートトラスト株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 4681 URL <https://www.resorttrust.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伏見 有貴  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 業務部門管掌 兼 (氏名) 井内 克之 (TEL) (052) 933-6519  
 CCO  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け) IR電話会議  
 (百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	39,897	18.0	2,143	32.6	2,394	14.2	1,380	20.2
30年3月期第1四半期	33,808	8.2	1,616	115.9	2,097	373.6	1,148	425.2

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 △764百万円( -%) 30年3月期第1四半期 1,046百万円( -%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	12.92	11.86
30年3月期第1四半期	10.77	9.87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	401,900	121,817	29.2
30年3月期	421,440	125,190	28.7

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 117,528百万円 30年3月期 120,762百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	23.00	—	23.00	46.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	23.00	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	81,900	16.8	6,300	15.5	6,700	4.7	4,000	5.6	37.43
通期	183,600	11.0	19,000	7.1	19,500	0.4	12,400	4.8	116.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	108,520,799株	30年3月期	108,520,799株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	1,618,758株	30年3月期	1,662,070株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	106,873,841株	30年3月期1Q	106,645,009株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページをご覧ください。
- ・決算補足説明資料については、本日、当社ホームページ(投資家情報-IR資料)に「決算説明資料」を掲載いたします。(https://www.resorttrust.co.jp/ir/)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	12
(追加情報) .....	12
(セグメント情報等) .....	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第1四半期連結累計期間の概況

※当第1四半期連結累計期間の「計画」については、平成30年5月14日付の公表数値に基づいております。

	前第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	33,808百万円	39,897百万円	40,800百万円	+18.0%	△2.2%
営業利益	1,616百万円	2,143百万円	2,000百万円	+32.6%	+7.2%
経常利益	2,097百万円	2,394百万円	2,100百万円	+14.2%	+14.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,148百万円	1,380百万円	1,100百万円	+20.2%	+25.5%

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益の改善が持続し、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の状況は、平成30年2月に開業した「芦屋ベイコート倶楽部」、並びに、平成30年4月に開業した「エクシブ六甲サンクチュアリ・ヴィラ」のホテル運営収益が業績貢献したほか、平成28年8月に販売を開始した「ラグーナベイコート倶楽部」の会員権販売が好調に推移したことなどにより、売上高は39,897百万円（前年同期比18.0%増）、営業利益は2,143百万円（前年同期比32.6%増）、経常利益は2,394百万円（前年同期比14.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,380百万円（前年同期比20.2%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。なお、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。また、当第1四半期連結会計期間より、組織変更に伴い、事業セグメントの区分方法を見直しております。前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は変更後の区分方法で算出しております。

②セグメントの業績概況

【会員権事業】

	前第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	7,167百万円	12,431百万円	12,360百万円	+73.5%	+0.6%
セグメント利益	1,748百万円	2,942百万円	2,770百万円	+68.3%	+6.2%

会員権事業におきましては、平成29年12月に販売を開始した「横浜ベイコート倶楽部」等の会員権販売が好調に推移したこと、平成30年4月に「エクシブ六甲サンクチュアリ・ヴィラ」が開業したことで、それまで繰り延べられてきた不動産収益が一括収益計上されることなどにより増収増益となりました。

【ホテルレストラン等事業】

	前第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	19,129百万円	19,271百万円	20,070百万円	+0.7%	△4.0%
セグメント利益	573百万円	305百万円	390百万円	△46.7%	△21.7%

ホテルレストラン等事業におきましては、平成30年2月に開業した「芦屋ベイコート倶楽部」、並びに、平成30年4月に開業した「エクシブ六甲サンクチュアリ・ヴィラ」のホテル運営収益が業績へ寄与した一方で、減価償却費等の費用が増加したことなどにより増収減益となりました。

【メディカル事業】

	前第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	7,328百万円	8,025百万円	8,200百万円	+9.5%	△2.1%
セグメント利益	1,094百万円	1,068百万円	1,090百万円	△2.3%	△2.0%

メディカル事業におきましては、総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員増加に伴う年会費収入等の増加のほか、シニアレジデンスの運営施設拡大、健診事業や化粧品、サプリ等物販事業が拡大した一方で、メディカル会員権の販売量が前期と比べ減少したことなどにより増収減益となりました。

【その他】

	前第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	183百万円	169百万円	170百万円	△8.0%	△0.5%
セグメント利益	49百万円	61百万円	60百万円	+24.0%	+2.7%

その他におきましては、連結子会社であるアール・ティー開発(株)において賃貸物件が減少したことに伴い、オフィスビルの賃貸料収入が減少した一方で、固定資産税、減価償却費等の費用が減少したことなどにより減収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産等の状況に関する分析

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は401,900百万円(前連結会計年度比4.6%の減少)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、現金及び預金が7,787百万円、投資有価証券が12,308百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は280,083百万円(前連結会計年度比5.5%の減少)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、未払金が7,296百万円、未払法人税等が4,182百万円、償却型長期預り保証金が3,361百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は121,817百万円(前連結会計年度比2.7%の減少)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金が1,111百万円、為替換算調整勘定が2,092百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。その結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は29.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月14日に公表した当期の業績予想に変更はありません。通期連結業績予想は以下のとおりです。

平成31年3月期 通期連結業績予想数値（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

	前連結会計年度 (実績)	当連結会計年度 (計画)	増減比
売上高	165,413百万円	183,600百万円	+11.0%
営業利益	17,742百万円	19,000百万円	+7.1%
経常利益	19,422百万円	19,500百万円	+0.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	11,830百万円	12,400百万円	+4.8%

通期業績見通しについては、平成30年2月に開業した「芦屋ベイコート倶楽部」が通期稼動するほか、平成30年4月に「エクシブ六甲サンクチュアリ・ヴィラ」が開業、平成31年3月に予定している「ラグーナベイコート倶楽部」が開業を迎えることに伴い、それまで繰延べられてきた不動産収益が一括収益計上されることに加え、メディカル事業において、総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員数の増加に伴う、会費収入の増加のほか、シニアレジデンスの運営施設拡大、健診事業や化粧品、サプリ等物販事業の拡大が見込まれることなどから、当社グループ全体として売上高 183,600百万円（前年同期比 11.0%増）、営業利益 19,000百万円（同 7.1%増）、経常利益 19,500百万円（同 0.4%増）、親会社に帰属する当期純利益 12,400百万円（同 4.8%増）を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,366	21,579
受取手形及び売掛金	7,689	7,376
営業貸付金	44,041	44,708
有価証券	6,404	2,503
商品	972	1,016
販売用不動産	22,776	27,825
原材料及び貯蔵品	1,374	1,358
仕掛販売用不動産	28,116	23,121
その他	6,303	7,543
貸倒引当金	△950	△1,011
流動資産合計	146,094	136,021
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	94,830	93,902
機械装置及び運搬具（純額）	2,765	2,787
コース勘定	7,591	7,591
土地	38,302	38,338
リース資産（純額）	6,689	6,513
建設仮勘定	15,700	20,030
その他（純額）	4,721	4,481
有形固定資産合計	170,600	173,646
無形固定資産		
のれん	4,121	3,967
ソフトウェア	4,240	4,057
その他	2,638	2,778
無形固定資産合計	11,001	10,803
投資その他の資産		
投資有価証券	64,724	52,415
関係会社株式	1,390	1,384
長期貸付金	6,163	6,134
退職給付に係る資産	1,219	1,190
繰延税金資産	7,596	7,241
その他	13,486	13,846
貸倒引当金	△835	△784
投資その他の資産合計	93,744	81,428
固定資産合計	275,345	265,879
資産合計	421,440	401,900

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,355	1,403
短期借入金	8,958	9,539
1年内返済予定の長期借入金	19,119	15,992
1年内償還予定の社債	2,750	250
リース債務	848	842
未払金	16,825	9,529
未払法人税等	4,741	558
未払消費税等	1,642	886
前受金	28,564	26,917
前受収益	13,975	16,057
債務保証損失引当金	179	224
その他	7,192	10,769
流動負債合計	106,153	92,971
固定負債		
社債	700	700
新株予約権付社債	29,855	29,845
長期借入金	32,069	32,252
リース債務	6,343	6,157
繰延税金負債	829	847
役員退職慰労引当金	2,131	2,059
株式給付引当金	1,294	1,580
退職給付に係る負債	1,755	1,783
長期預り保証金	33,693	33,453
償却型長期預り保証金	67,847	64,485
負ののれん	100	70
その他	13,475	13,876
固定負債合計	190,096	187,112
負債合計	296,250	280,083
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	19,590	19,590
資本剰余金	22,192	22,192
利益剰余金	78,770	77,658
自己株式	△2,212	△2,108
株主資本合計	118,341	117,333
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	661	529
為替換算調整勘定	1,814	△277
退職給付に係る調整累計額	△55	△56
その他の包括利益累計額合計	2,421	195
新株予約権	229	245
非支配株主持分	4,198	4,043
純資産合計	125,190	121,817
負債純資産合計	421,440	401,900



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	33,808	39,897
売上原価	4,370	8,278
売上総利益	29,438	31,619
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	10,849	11,233
役員退職慰労引当金繰入額	30	131
修繕維持費	741	836
貸倒引当金繰入額	65	65
水道光熱費	1,203	1,225
減価償却費	1,825	2,025
その他	13,107	13,959
販売費及び一般管理費合計	27,822	29,476
営業利益	1,616	2,143
営業外収益		
受取利息	576	450
受取配当金	3	3
負ののれん償却額	30	30
持分法による投資利益	3	5
為替差益	48	11
貸倒引当金戻入額	43	54
債務保証損失引当金戻入額	16	—
その他	92	61
営業外収益合計	814	617
営業外費用		
支払利息及び社債利息	150	164
債務保証損失引当金繰入額	—	44
前受金保証料	9	7
控除対象外消費税等	114	124
その他	58	24
営業外費用合計	333	365
経常利益	2,097	2,394

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
特別利益		
固定資産売却益	0	63
投資有価証券売却益	13	311
投資有価証券償還益	17	—
関係会社株式売却益	2	4
その他	—	6
特別利益合計	34	385
特別損失		
固定資産除却損	11	2
減損損失	—	104
投資有価証券売却損	—	302
投資有価証券償還損	59	—
役員退職慰労金	34	40
その他	47	23
特別損失合計	153	473
税金等調整前四半期純利益	1,978	2,307
法人税、住民税及び事業税	468	413
法人税等調整額	317	431
法人税等合計	785	845
四半期純利益	1,192	1,461
非支配株主に帰属する四半期純利益	44	80
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,148	1,380

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	1,192	1,461
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	963	△132
為替換算調整勘定	△1,112	△2,092
退職給付に係る調整額	2	△1
その他の包括利益合計	△146	△2,225
四半期包括利益	1,046	△764
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,002	△845
非支配株主に係る四半期包括利益	44	80

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,978	2,307
減価償却費	2,040	2,302
減損損失	—	104
のれん及び負ののれん償却額	161	123
貸倒引当金の増減額(△は減少)	16	10
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	39	54
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△107	△71
受取利息及び受取配当金	△580	△454
支払利息及び社債利息	150	164
為替差損益(△は益)	△28	△13
売上債権の増減額(△は増加)	2,219	△365
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,925	△322
仕入債務の増減額(△は減少)	△201	64
未払金の増減額(△は減少)	△7,244	△5,559
前受金の増減額(△は減少)	3,445	△1,646
長期預り保証金の増減額(△は減少)	△3,805	△3,601
未払消費税等の増減額(△は減少)	1,291	△705
その他	3,017	3,108
小計	△1,532	△4,498
利息及び配当金の受取額	774	749
利息の支払額	△158	△190
法人税等の支払額	△3,387	△4,407
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,304	△8,347
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△10	△10
定期預金の払戻による収入	60	67
有価証券の取得による支出	△3,611	—
有価証券の売却及び償還による収入	2,195	890
投資有価証券の取得による支出	—	△0
投資有価証券の売却及び償還による収入	3,010	12,114
関係会社株式の取得による支出	△1	△3
関係会社株式の売却による収入	7	14
有形及び無形固定資産の取得による支出	△4,288	△8,932
貸付けによる支出	△517	△327
貸付金の回収による収入	38	44
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,398	—
その他	△90	△242
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,606	3,614

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	214
長期借入れによる収入	—	521
長期借入金の返済による支出	△975	△3,466
社債の償還による支出	—	△2,500
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	77	75
配当金の支払額	△2,492	△2,492
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△1
その他	2,241	1,701
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,150</b>	<b>△5,946</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	20	△7
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>△10,041</b>	<b>△10,687</b>
現金及び現金同等物の期首残高	40,365	32,469
<b>連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>66</b>	<b>—</b>
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,390	21,781

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト ラン等事業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,167	19,129	7,328	33,624	183	33,808
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2	636	18	657	189	847
計	7,169	19,765	7,347	34,282	373	34,656
セグメント利益	1,748	573	1,094	3,416	49	3,465

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、別荘管理業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	3,416
「その他」の区分の利益	49
全社費用(注)	△1,849
四半期連結損益計算書の営業利益	1,616

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト ラン等事業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,431	19,271	8,025	39,728	169	39,897
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2	642	32	677	189	866
計	12,433	19,914	8,057	40,405	358	40,764
セグメント利益	2,942	305	1,068	4,316	61	4,377

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、別荘管理業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	4,316
「その他」の区分の利益	61
全社費用 (注)	△2,234
四半期連結損益計算書の営業利益	2,143

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、組織変更に伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、従来「会員権事業」に含めておりましたゴルフ会員権販売及びゴルフ事業子会社2社については「ホテルレストラン等事業」へ含め、「ホテルレストラン等事業」に含めておりました株式会社日本スイスパーフェクションについては「メディカル事業」に含めております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ホテルレストラン等事業」セグメントにおいて、施設の閉鎖等に伴い、当第1四半期連結累計期間に104百万円の減損損失を計上しております。